

2019 中期事業計画

IHI GROUP

明星電気株式会社  MEISEI

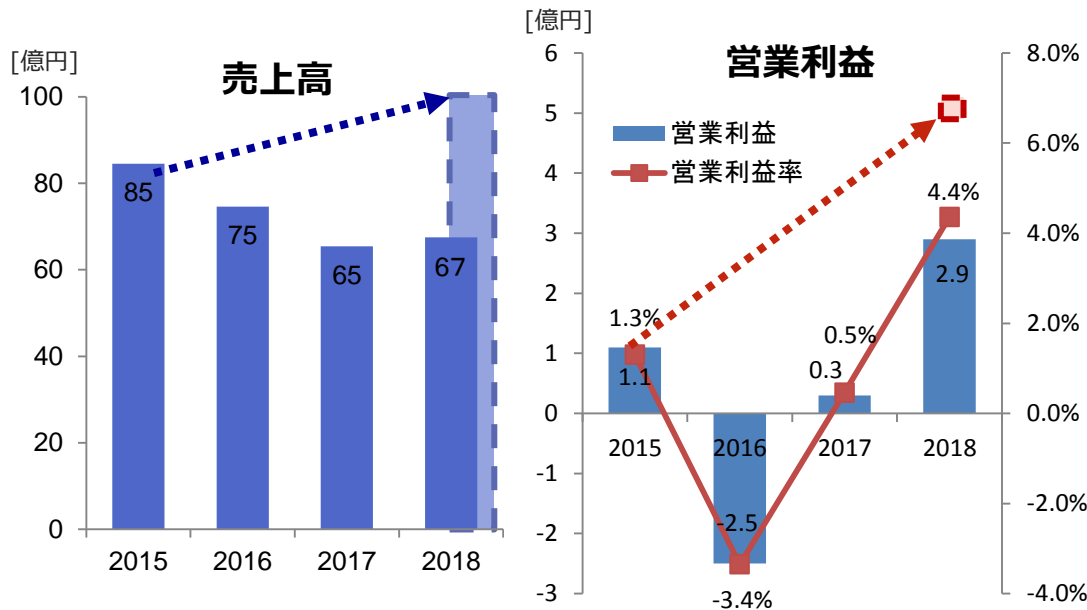
2019年5月

2016中期事業計画のふりかえり



- 売上成長を期するも、更新需要の端境期で目標未達、新規市場挑戦は少しずつ成果
- 収益改善を期するも、開発案件の採算悪化で目標未達、リスク審査強化で回復傾向堅持
- 成長注力に関しては、複数の新製品開発を完了し、多数の新規顧客を獲得

2016中期事業計画



基盤
確保

安定的受注獲得

収益性の向上

成長
注力

気象・防災：ゾンデ・POTEKA

宇宙防衛：小型衛星・地上転用

実績

売上高 100億円 → 66.5億円

営業利益率 7% → 4.4%

ROE 7% → 4.7%

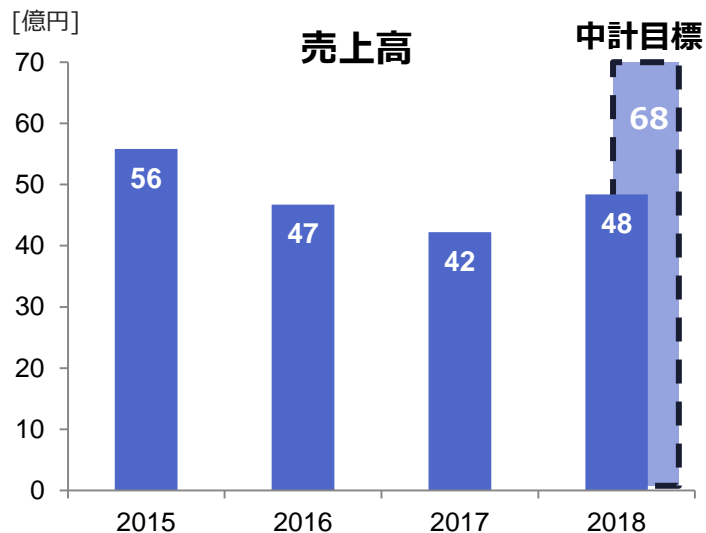
戦略の見直しポイント

- 既存市場の需要変動の精緻な予測と対応
- 新規市場への優位性を生かした戦略的挑戦の継続
- 受注リスク・技術リスクの事前評価と対策徹底の継続

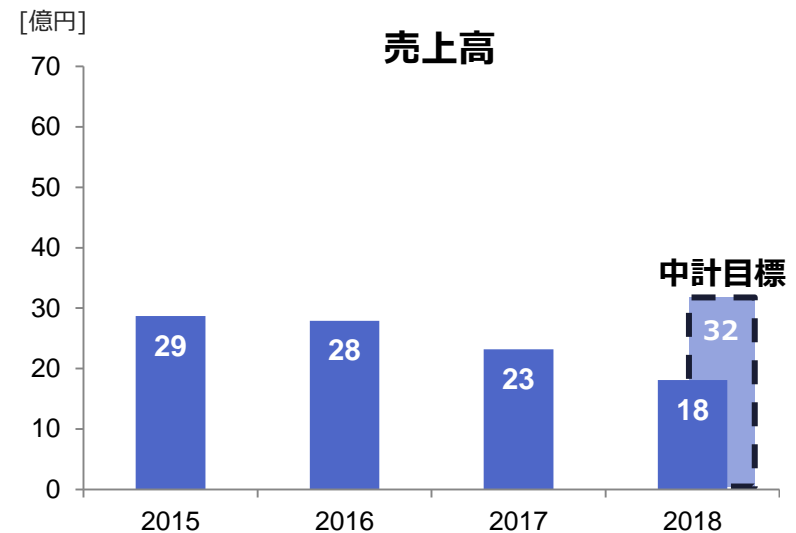
前計画ふりかえり：事業セグメント別の取組み結果 IHI GROUP

- 気象・防災分野 需要の端境期に遭遇，2018年度から更新需要は回復傾向
2016年度に火山関係工事で原価悪化するも その後は改善傾向堅持
ゾンデ・地震計の海外販売とPOTEKAの官民販売が進展
- 宇宙・防衛分野 2018年度にお客様計画の大幅な後倒しが発生，年度内受注は確保
2016・17年度に継続開発案件で原価悪化案件が発生するも以降は改善
ベンチャーへのコンポーネント・部品販売が開始

気象防災事業



宇宙防衛事業



中期的に進む方向性



生活／地球／宇宙環境の
監視・保全・活用に貢献する
グローバルな企業

気象・防災分野

国内

災害の新たな課題（避難促進、インフラ回復）を含めた解決の要請
気象・環境変動のビッグデータも活用した**防災高度化**の取組が活性化

海外

新興国の**防災ニーズ**は経済成長に合わせて緩やかに拡大継続
防災支援への**我国の国際貢献**（ODA，研究支援）は継続

宇宙・防衛分野

計画

ISS廃止後の**国際協業テーマ**として月探査ゲートウェイ構想が浮上
国内外で**宇宙の安全保障利用**の計画が進行（防衛大綱にも記載）

技術

民間企業が**小型衛星**コンステレーション構想を公表，新市場成長の兆し
画像監視ニーズ拡大でカメラ高解像度化とデータ通信高速化が加速



変化に対応することで，持続的な成長が期待できる環境

企業理念

私たちは独自の**Sensing & Communication**技術により、
革新的な商品・サービスを創造し、
安全・安心な社会の発展に貢献していきます

目指す姿

世界の人々のより豊かな生活の実現をめざし、
生活／地球／宇宙環境の監視・保全・活用に貢献する
グローバルな企業となります

中長期において進む方向性

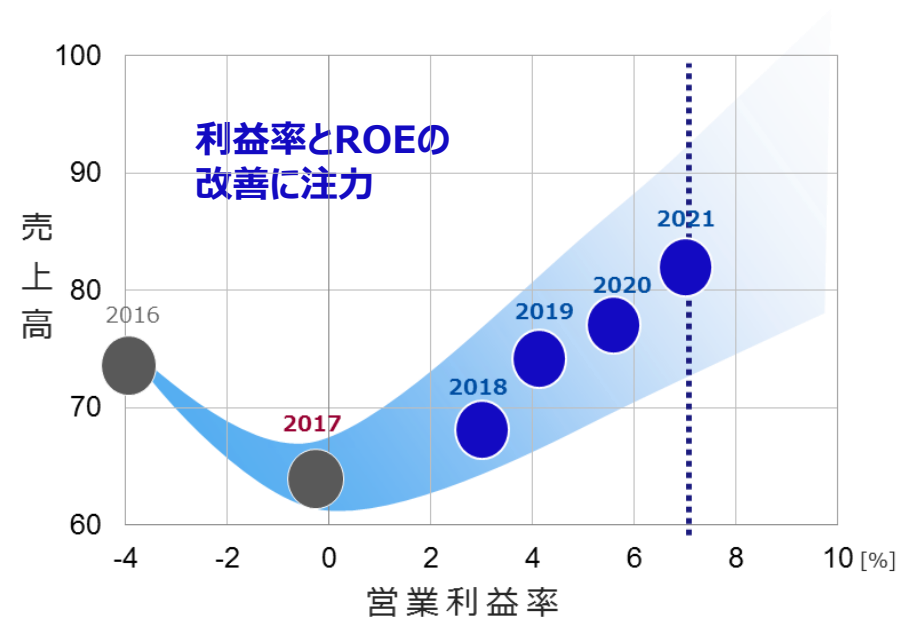
◆ 防災課題・環境課題を抱えるお客様への価値情報提供

- お客様の観測・保守を含む**ライフサイクルサービスの提供**
- 気象・地震データ解析力強化で**防災の付加価値情報を提供**
- 各種**公共データおよび自前データの融合**による価値創造

◆ 宇宙利用・環境利用に資する高性能な観測・通信機器の提供

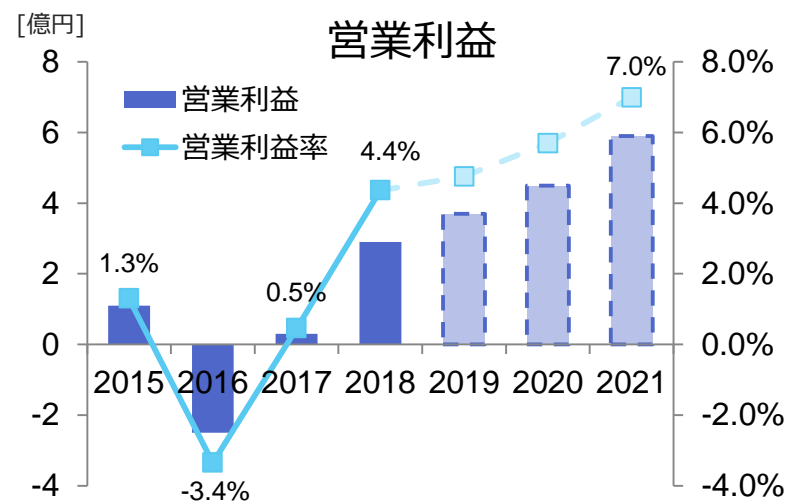
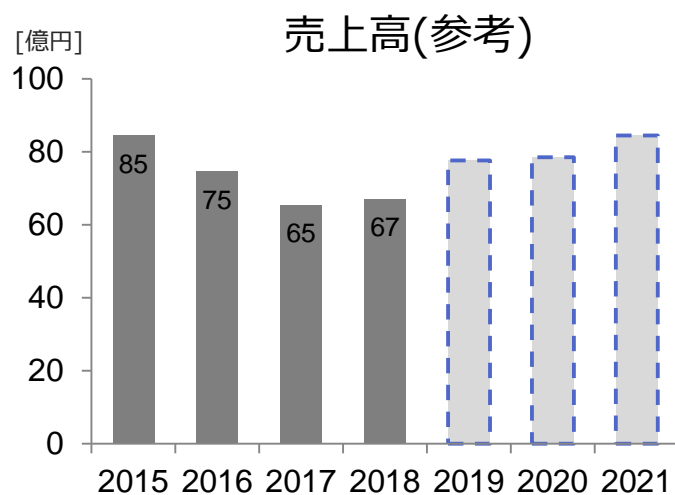
- **キーコンポーネントを磨き**, 海外・民間利用で成長
- 日本の**環境計測・宇宙開発・安全保障の一翼**を担う
- **宇宙極限技術**（耐環境, 放射線測定等）の**地上活用**

中期経営目標

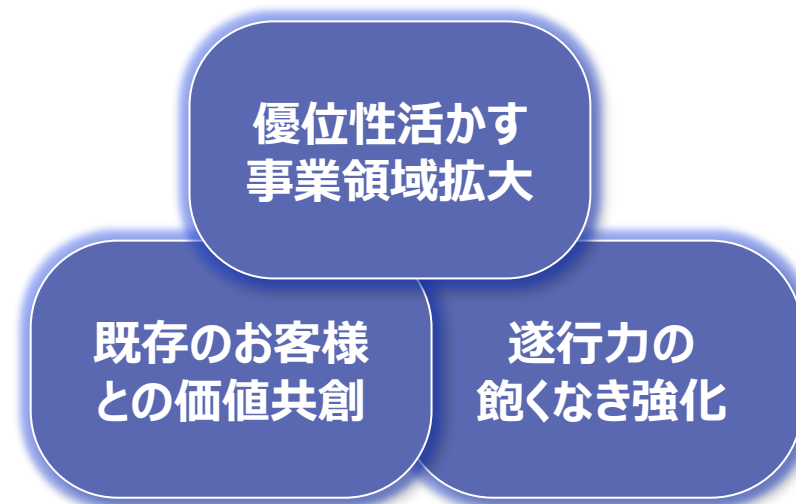


利益確保優先アプローチで 営業利益率7%・ROE 7%達成

	2018年度	2021年度
売上高(参考)	67億円	84億円
営業利益率	4.4%	7.0%
ROE	4.7%	7.0%



中期経営方針



基盤強化

<価値共創を通じて競争優位を強化>

- 更新前にお客様とVE議論 ⇒ お客様の投資効果の最大化
- 運用不良の再発防止徹底 ⇒ お客様の稼働率の最大化
- ライフサイクル支援提案 ⇒ お客様の運用効率の最大化

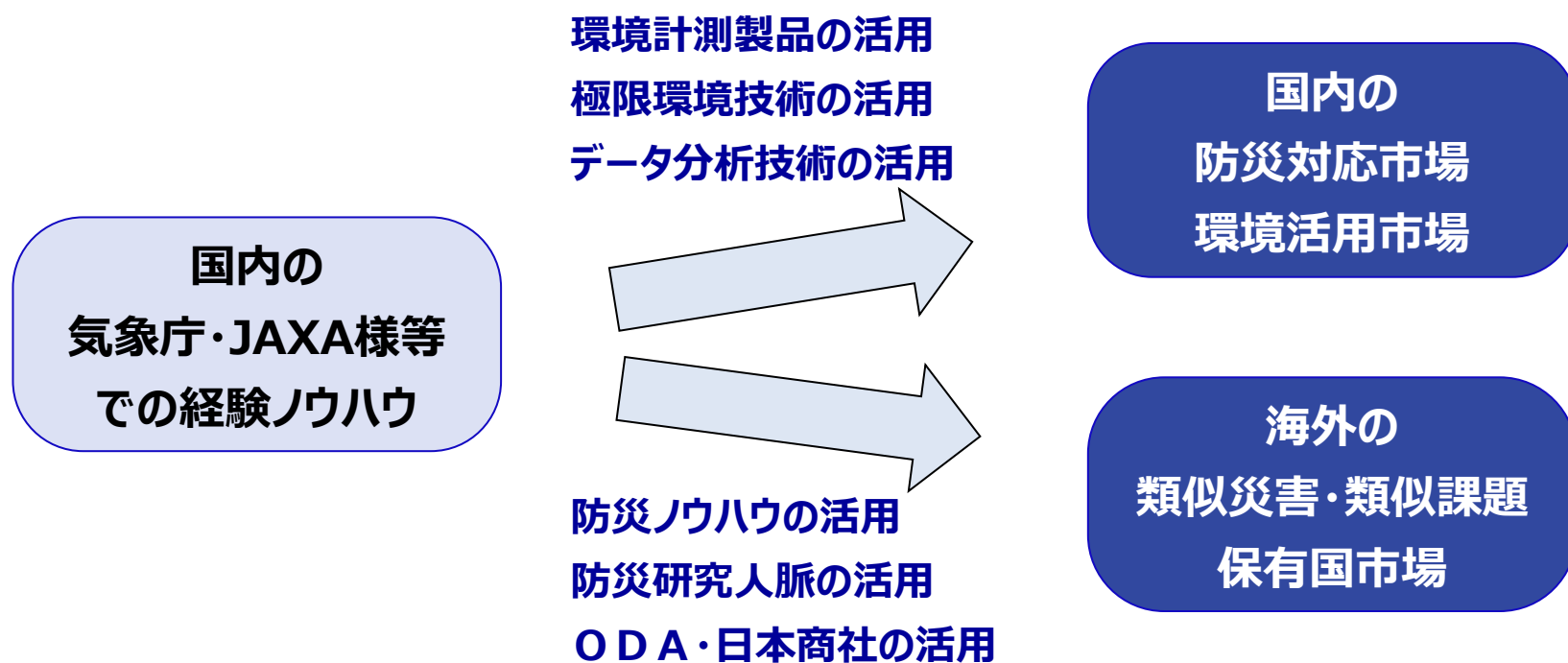
VE : Value Engineering



事業変革

<優位性を活かして隣接市場に事業拡大>

- 環境計測ノウハウを活用 ⇒ 防災対応・環境活用市場に拡大
- 日本防災ノウハウを活用 ⇒ 海外の類似課題国に拡大



遂行力強化

＜遂行力を継続改善し、より一層スリムで筋肉質な体質に＞

- **業務生産性** を継続強化 ⇒ **収益性** を強化
- **リスク対応力** を継続強化 ⇒ **安定性** を強化
- **製品サービス力** を継続強化 ⇒ **お客様信頼** を強化

業務生産性強化

- 平準化と整流化
- 多能工化と内製化
- 原材料回転率向上

リスク対応力強化

- リスク管理力
- プロジェクト管理力
- 技術力・品質力

製品サービス力強化

- お客様と早期対話
- 市場ベンチマーク
- VE改善の徹底

<ビジョン> 防災・環境に課題を抱えるお客様への価値情報提供企業

基盤強化

<既存事業強化戦略> 気象・地震観測のお得意様への安定供給と利益確保

市場： 気象庁，防衛省， JR様向けの気象・地震観測

戦略： お客様連携強化で優位確保， 技術力・コスト力強化で利益確保

事業変革

<事業領域拡大戦略 1> 観測機器提供企業から防災・環境課題解決企業へ

市場： 防災・環境関連官公庁（含む消防） ， 屋外型事業者（含む交通）

戦略： 防災課題を抱えるお客様により接近， 課題解決力を強化し提案実施

<事業領域拡大戦略 2> 日本類似の防災課題を有する新興国への解決策提供

市場： 気象災害・地震災害の多い新興国

戦略： 気象計・地震計の国際規格対応， 代理店整備とJICA・日本商社連携

<ビジョン> 宇宙を含む極限環境での計測・通信機器のトップメーカー

基盤強化

<既存事業強化戦略> 宇宙研究開発市場でのミッション機器の安定供給

市場 : 国内の宇宙開発機関・大学

戦略 : 宇宙探査ミッションの早期提案と安定品質による信頼確保

事業変革

<事業領域拡大戦略 1> 成長する宇宙利用市場での差別化コンポーネント拡販

市場 : 海外, 民間, ベンチャの宇宙開発企業

戦略 : 差別化コンポ (衛星バス、環境計測、画像取得・伝送) の強化とPR

<事業領域拡大戦略 2> 宇宙で培った耐環境・放射線計測技術の地上提供

市場 : 極限環境 (超低温・高放射線など) を有する研究機関・企業

戦略 : お客様課題に沿った提案力・解決力の強化と実践

主な機種を取組み方針



価格優位に加えて性能優位を実証することで世界展開を加速

事業方針

- 2020年の国際比較観測に向け性能を強化
- 海外気象局・研究機関に強い海外代理店網の整備
- 研究機関向け露点ゾンデの市場投入



防災に資する価値情報提供の視点でお客様課題を解決

事業方針

- 防災機関（自治体・消防）への展開を加速
- 自然環境に影響を受ける企業への展開拡大
- お客様のニーズに応じた提供情報の充実
 - 意思決定・行動決定情報の分かり易い提供
 - オプションセンサと販売モデルの多様化



POTEKA標準センサ
（+ニーズに応じたオプションセンサ）



POTEKA標準画面
（+ニーズに応じた情報提供）

地震計測リーディング企業として人々の安全・安心に貢献

事業方針

■ 地震計測の高度化の流れに沿った製品投入

－ PLUM法・長周期対応機種種の拡販

■ 国際規格対応の地震計の整備強化

－ 世界の地震国市場のシェア確保

■ 地震に伴う設備健全性担保への取組み



PLUM法対応
緊急地震速報受信ユニット
(巨大地震時にも精度の良い震度表示)



長周期震度計
(高層ビルの防災に不可欠)

民間利用拡大に向け機器競争力強化とミッション統合力強化

事業方針

- 探査衛星ミッション機器の連続受注
- 小型衛星分野での早期実績構築
- 優位性ある宇宙構成機器の差別化と拡販
- ポスト宇宙ステーション時代に必要となる技術の育成



小型高速Xバンド送信機（538Mbps）

宇宙分野で蓄積された極限環境計測技術を活用し、
オンリーワンの地上計測機器を開発・事業化

事業方針

■放射線計測と特殊環境計測を強みとする商品拡販

- XFEL読出装置 *
- 普及型特性X線カメラ **
- 極低温下監視カメラ



XFEL読出装置



普及型特性X線カメラ



極低温下監視カメラ

* XFEL: X-ray Free Electron Laser (X線自由電子レーザー)
新薬創出など活用が期待される「夢の光」。読出装置は光をとらえる目の視神経にあたる装置。

** 放射性物質（セシウム137、134）を可視化する軽量・コンパクトなカメラ。

IHI GROUP

Realize your dreams

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスクおよび不確実性が含まれます。したがって、さまざまな要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。